

ガーデンシティふかや推進室[ふかや緑の王国・深谷市榎引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551

花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!

第14回ふかや緑の王国梅まつり

ふかや緑の王国の梅園は2月下旬頃から見頃となります。新たな春を満喫する約100種類の梅の競演を、新型コロナウイルス対策に留意しながらお楽しみください。

当日は、梅まつり恒例の王国ボランティアによる寄せ植え・花の苗販売、王国オリジナル品販売なども行います。また、バードハウスコンテスト、写真コンテスト応募作品の展示を休憩室と温室通路で行っていますので、ぜひご覧ください。

とき 3月5日(土) ところ ふかや緑の王国

※新型コロナウイルス感染症拡大防止などを考慮し、規模を縮小して開催いたします。

※ピザなどの飲食物の販売は行いません。

※寄せ植え・花の苗販売は午前10時～午後3時

4月中旬
開催予定

春のガーデニング 作品募集!

コンテスト 応募締切 4月8日(金)

ガーデニングコンテスト作品

①コンテナガーデン部門(50作品)

縦横70cm以内、高さ自由、切り花以外で制作(1人2点まで出展可)



▲過去のコンテナガーデン部門最優秀賞

②ハンギングバスケット部門(50作品)

縦横70cm以内の壁掛けタイプ、切り花以外で制作(1人2点まで出展可)



▲過去のハンギングバスケット部門最優秀賞

③オリジナル箱庭部門(30作品)

主催者で用意する縦横52cmの箱を使用、高さ自由(1人2点まで出展可)



▲過去のオリジナル箱庭部門最優秀賞

申し込みはメール(☐garden@city.fukaya.saitama.jp)またはファクス(☎551-5552)でふかや緑の王国へ。詳しくは、2月下旬配布予定の募集要項(市役所・公民館・ホームページで入手可能)をご覧ください。

王国自然クラブメンバー募集

対象 市内の小学校3年生～6年生(令和4年4月現在)

とき 1年間(原則:毎月第1日曜日午前9時～正午)

ところ ふかや緑の王国

定員 20人(応募者多数の場合は抽選)

※抽選日3月13日(日)午前10時～

申し込み 2月20日(日)～3月6日(日)

参加希望者説明会 2月20日(日)①午前9時～、②午前10時30分～(※同一内容で2回実施)

詳しくは、ホームページをご覧ください。お問い合わせ先までお問い合わせください。

王国自然クラブ学生サポーター募集

王国自然クラブの子ども達と毎月一緒に活動する学生サポーターを募集します。詳しくは、お問い合わせください。



※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、中止になる場合がございます。
※体験および教室では各自でマスクを準備し感染予防対策をしてください。



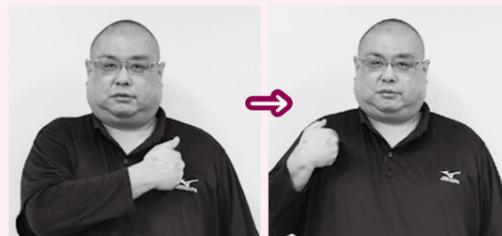
手話 de おはなし



手話に興味はあるけど難しそう…。そんなかたも、身近なあいさつからチャレンジしてみよう!

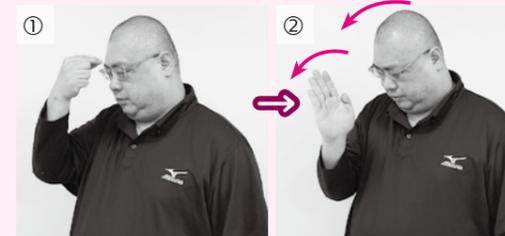
(手話協力 深谷市聴覚障害福祉協会)

大丈夫



右手の指先を湾曲させて、左胸にあててから右胸にあてる。

ごめんなさい(すみません)



①つまんだ右手2指(親指・人差し指)を、眉間にあてる。②頭を下げ、顔前で斜めに構えた右手を少し前へ出す。

【お知らせ】市議会では、聴覚障害者が議会傍聴のために、手話通訳を利用できます。また、議場傍聴席では、聞こえを支援するヒアリングループ(磁気ループ)を設置しており、専用受信機を貸し出しています。



障害福祉課(☎) 571-1011 FAX 574-6667

畠山重忠を知る

畠山重忠と源頼朝



武蔵武士の鑑

畠山重忠

治承4年(1180年)に源頼朝が平家打倒のため挙兵します。京の公家、九条兼実(よしかね)は「義朝(よしのり)の父で平治の乱で討たれる」と子とやらが謀反を企てているかと記しており、頼朝は半ば忘れられた存在で、また都からみた東国はかなりのへき地という認識でした。頼朝は平治の乱(1160年)の後に、遠流の地である伊豆国に流されます。平治の乱の後には平家の世となり、敗者側も一応平家に臣従しますが、屈辱を忘れない東国武士が多くいました。戦後20年、じくじたる思いを抱きながら崖伏していた頼朝は、時代の流れに押し出されるよう

に、三浦氏、土肥氏、北条氏といった東国武士の支援を得て立ち上がったのです。この時点で頼朝は反乱軍でした。頼朝挙兵後に平家方による討伐軍が組織され、重忠は平家方として参戦します。そして、行き違いもあって姻戚である三浦氏と交戦し、祖父にあたる三浦氏の長老、三浦義明を討ち取ります。頼朝軍は、石橋山合戦で敗戦しますがすぐに再起し、多くの武士が雪崩のように頼朝に従い、瞬間に大勢力となります。重忠も状況の大きな変化を感じ、側近の榛沢成清の助言もあって、祖先が源氏から賜った白旗を軍陣に立て、頼朝のもとへ参陣します。そして、頼朝は敵対したことを許し、重忠を陣に加えました。武蔵武士団を束ねることのできる強大な勢力を持つ重忠を迎えた後、頼朝は大軍勢を率いて、父祖の地である鎌倉に入りました。重忠はその後、多くの重要な場面で先陣を任されるなど、頼朝の下で重用され、活躍していきます。